



研究ニュース No.18

研究全般に関わる情報を定期的に配信いたします。



学生向け



大学院生向け



教員・研究員向け

発行日：2025 年 1 月 6 日

発行者：フロンティア研究推進機構事務室

〒658-8501

神戸市東灘区岡本 8-9-1

(岡本キャンパス 12 号館 6 階)

電話 078-435-2559/2754

メール konanfront@adm.konan-u.ac.jp



2024年度研究費不正防止計画にかかる第3回啓発活動を実施しています

教員だけではなく、研究費の執行に関わる大学院生や研究員のみなさまも必ずご覧ください。

啓発活動動画はこちらから



研究費による出張における必要書類について

資料収集・研究打合せを目的とした研究費による出張の際、必要書類として提出いただく写真については、これまで「自撮り写真」の提出をお願いしていましたが、今後は「その日その場所にご自身がおられ、用務を実施した証明となるもの」とし、「自撮り写真」に限定いたしません。ご理解をいただきますようお願いいたします。（この取扱変更は、「研究費使用・管理マニュアル」の次回改訂版に反映させます。）



今年度の研究費執行にかかる書類提出期限について

今年度の研究費執行にかかる下記の書類提出期限は、**2025年3月10日（月）**としています。

【物品】納品・検収済み書類

【旅費】出張報告、証拠書類

【人件費・謝金】報告書、証拠書類

○ 継続基金等、一部の研究費を除きます

○ 研究費ごとの書類提出にかかる詳細は、2025年1月末に再度ご案内します



20万円以上の物品等の発注に関して

- ① 2024年度の納品期限（発注期限ではありません）は、**2025年2月28日**です。
- ② 発注時に必ず納期をご確認ください。特注品や在庫僅少の物品を発注する場合は、納品までに時間を要する場合がありますので特に注意してください。
- ③ 20万円以上の物品等を発注する場合は、②のとおり納期をご確認の上、見積書・相見積書・カタログ等の詳細が分かる資料をフロンティア研究推進機構事務室まで提出してください。（「研究費使用・管理マニュアル」P12・14）
- ④ 20万円以上の発注は調達決裁が必要です。フロンティア研究推進機構事務室まで早目に必要書類を提出してください。



各種研究費執行状況について

2024年度の各種研究費の執行状況について、各学部・センターのコンプライアンス推進責任者宛に連絡しています。

特に執行状況が50%以下の研究費に関しましては、研究計画に照らして、執行を進めていただきますようお願いいたします。

なお、科研費の執行が当初計画より遅れる場合、正当な理由があれば、繰越や延長制度を利用することも可能です。また、年度内に使い切ることが出来ず、結果として、返還手続きをとることとなっても、その後の採択等には悪影響はないことが文部科学省や日本学術進振興会より周知されています。



研究費管理システム（科研費プロ）で確認できる研究費残高について【お願い】

研究費執行状況は、研究費管理システム（科研費プロ）でご確認いただけますが、以下の場合、残高が正確に反映できません。

- ① 未納品の物品等があるとき
- ② 時価の薬品、旅費・謝金など、金額が不確定の経費執行が進行しているとき
- ③ 人件費が未確定のとき

上記①～③の状況がある場合、科研費プロの研究費執行状況は、現に執行可能な金額が表示されていません。このため、打ち切り支給等、自己負担が発生する可能性があることにご注意いただくようお願いいたします。

研究費執行状況（残高）について、ご不明な点がありましたら、下記リンク先のフォームよりお問い合わせください。

<https://forms.office.com/pages/responsepage.aspx?id=DQAhMTd7ikWOrfgy3S0nqWFMZmNO3ExOjPSqLZ3NBPBUOVdHU1NYTERST0swQTVLNVNBTTJJUIZCNI4u&route=shorturl>

【ご参考】「研究費使用・管理マニュアル」

https://www.konan-u.ac.jp/front/wp/wp-content/uploads/01_manyual.pdf



【フロンティアサイエンス研究科】博士課程 吉田秀平さん、秋田智香さんが「イノベーション ストリームKANSAI 8.0」に出展しました

[（詳細はこちら）](#)



【理工学部/生物学科/自然科学研究科/統合ニューロバイオロジー研究所】久原篤 教授の記事が毎日新聞デジタルに掲載されました

[（詳細はこちら）](#)



【文学部/人間科学研究所】2024年度公開研究会David Oppenheim先生研究会 の開催について

乳幼児と養育者の関係性に着目する発達心理学研究や乳幼児精神保健領域で著名なDavid Oppenheim先生（イスラエル、Haifa大学教授）が、研究知見をご講演くださることになりました。

自閉症をもつ子どもと両親との関係性について、また、両親が子どもの視点に立って物事を見る「洞察性」があることの重要性について、お話を聞き、意見交換したいと考えています。

ハイブリッド開催しますので、会場もしくはZoomでご参加ください。

題目："Mother-Father-Child interactions in Autism: The contribution of parental insightfulness and the impact on children's social competence."

自閉スペクトラム症をもつ子どもと父親・母親との相互作用：両親の洞察性が子どもの社会的能力に及ぼす影響

日時：2025年2月15日（土）13:30～16:30

場所：甲南大学ネットワークキャンパス東京（オンラインとのハイブリッド開催）

担当：北川恵（人間科学研究所兼任研究員）

講師：David Oppenheim, PhD（イスラエル、Haifa大学教授）

後援：日本乳幼児精神保健学会（JAIMH）

[（詳細はこちら）](#)



有期雇用の研究者の外部資金等各種研究費への申請について

受託研究等、各種研究費に応募される有期雇用の研究者の方は、所属機関による承認の必要の有無に関わらず、事前にフロンティア研究推進機構事務室までご相談ください。



「研究ニュース」についてのご意見・ご感想

「研究ニュース」をより良いものにするため、みなさまからのご意見やご感想をお待ちしています。

[（sangaku@ml.konan-u.ac.jp）](mailto:sangaku@ml.konan-u.ac.jp) までメールにてお寄せください。



情報提供のお願い（論文発表・学会発表 等）

論文発表、学会発表などをされた場合は、フロンティア研究推進機構事務室に概要をお知らせいただきますようお願いいたします。[（sangaku@ml.konan-u.ac.jp）](mailto:sangaku@ml.konan-u.ac.jp) 教員のみなさまには、大学情報データベースへの記録もお願いいたします。HP・研究ニュースなどを通じて、情報発信させていただきます。

また番組への出演、新聞・雑誌等記事等へのコメントなどについても情報提供いただけますと幸いです。